



今年度も丁寧な引継ぎをお願いします

2月4日は「立春」です。暦の上では春が近付き、冬至の頃よりずっと日が長くなっているのを感じます。しかし、一年で一番寒い時期でもあり、新型コロナウイルス感染症とともにインフルエンザも流行しています。引き続き感染症対策を行うとともに、栄養、睡眠をしっかりとって、寒い冬を乗り切りましょう。

年度末になり、幼小中高の引継ぎが行われる時期にもなります。進学、進級する子どもたちは、期待と同時に不安を抱えている場合もあります。環境が変わっても、子どもたちが、来年度、次のステップに向けて安心して進んでいけるよう、今年度も丁寧な引継ぎをお願いいたします。

【2月の予定】



※時間のみ記載の研修会の場所は、下野市庁舎です。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更となる場合があります。

月	火	水	木	金	土	日
		1 全日制特色選抜願書等提出 (~2/2)	2 社会科副読本活用研究⑧15:00~ (しもつけ風土記の丘資料館)	3 栄養教諭・学校栄養職員研修 13:30~	4 	5
6	7	8 青葉学力検査 全日制特色選抜 (~2/9)	9 児童生徒指導研修 ②14:00~	10 市定例校長会議 ⑨9:00~ 発達検査検討会議 14:30~	11 建国記念の日	12
13 園児による小学校見学(国分寺地区)	14 青葉合格者発表 全日制特色選抜内定者発表	15	16	17 定例教育委員会 養護教諭部会	18 	19
20 市主幹・教務主任研修⑥ 全日制・特別支援学校一般選抜願書等提出期間(~2/21)	21 就学児情報交流会 14:30~	22 小中一貫の日(南河内小中區)	23 天皇誕生日	24 ・全日制出願変更(2/24・2/27) ・定時制フレックス特別選抜願書等提出(2/24/2/27)	25	26
27 	28					

下野市教職員全体研修会

1月18日(水)に、教職員全体研修会を開催しました。昨年度に引き続きオンラインでの開催となり、ご負担をおかけしましたが、先生方のご協力により、無事に終了することができました。今年度は、祇園小学校における道徳教育推進について、また、細谷小学校における読書活動について発表していただきました。

祇園小学校



地域と連携を図った道徳教育の工夫
～児童の道徳的実践意欲・態度を生かす実践～
高山泰弘先生

各学校の振り返りより(抜粋)

- ・道徳を教科横断的に指導していきたいと思った。
- ・地域のことで道徳を行っていったらよい。
- ・教科書のみならず、地域環境・地域人材に内容項目を当てはめた道徳の教材作りをしたい。
- ・学校の周りの地域素材をもっと自分自身が知る。
- ・総合的な学習の時間で地域の特性をもっと生かしたい。

細谷小学校



読書活動の実践

軸丸尚子先生、杉山薫先生

各学校の振り返りより(抜粋)

- ・おすすめの本を児童が1冊選び、交換して読み合うという実践を取り入れてみたい。
- ・家読りレーや読書の木の掲示など、言語活動につなげていきたい。
- ・読書活動の充実に向けて児童の関心を高めたい。
- ・異学年交流による読書活動を行いたい。
- ・図書委員会の活性化と家庭の連携を実践したい。

下野市 教育のつどい

1月21日(土)に、国分寺公民館にて、「教育のつどい」が3年振りに開催され、今年度顕著な活躍(文化・スポーツ・善行篤行)をした児童生徒並びに市の優秀優良教職員、教育功労者への表彰式が行われました。また、声楽家大森 史子 氏による記念コンサート、4中・義務教育学校の代表生徒による「子ども未来プロジェクト」活動報告の発表も行われました。



優秀優良教職員表彰

下野市では教職員表彰制度として、日々の教育活動において優れた教育実践を行っておられる教職員の方々を顕彰しています。本市教職員の更なる資質・能力の向上を図ることを目的として行われているものです。今年で12年目となりました。

今年度、優秀優良教職員として3名の方が表彰されました。

おめでとうございます



祇園小 : 廣野 栄美子 事務長
南河内第二中 : 中里 篤 教諭
国分寺中 : 穴戸 恵美 栄養教諭

子ども未来プロジェクト発表

～プロジェクトのテーマ～

「輝く未来・あふれる笑顔～支え合い・わかり合い・心の輪を広げよう～」

昨年度からの共通課題である「つながり」の下、今年度は、下野市の子どもたちが、「いじめをしない・させない・見逃さない」という正しい判断ができるようになることを目指し、全ての学級で「いじめ防止」に向けた話し合い活動を実施しました。各中学校区の取組とともに、自分たちに何ができるかを年間2回の生徒会交流会や各校の児童生徒会において話し合ってきました。話し合ってきたことをより多くの人に伝えるとともに、啓発活動を今後も行っていこうという思いが伝わってくる発表でした。

